



令和6年度 校長あいさつ

茨城県立北茨城特別支援学校のホームページをご覧ください、ありがとうございます。

今年度より、本校校長に昇任しました横山ふさみと申します。昨年度1年間は本校教頭として、さらに、平成25年度から8年間は教諭（特別支援教育コーディネーター、小学部主事、教務主任）として勤務しておりました。たくさんの出会いと学びをいただいた、大好きな学校に勤務できたことに心より幸せを感じております。ご恩返しができるよう、保護者の皆様、地域の皆様とともに、児童生徒の豊かな学びの実現に力を尽くして参ります。どうぞよろしく願いいたします。

<今年度の取組み>

笑顔でチャレンジ「やってみよう！」

4月に教職員にアンケートを実施しました。どんな学校にしたいかという問いに、「笑顔」「楽しい学び」「いろいろなことにチャレンジできる」などの意見が多く、このキャッチフレーズが出来上がりました。

児童生徒が新しいことにチャレンジするためには、安心した環境であること、やってみよう！！と思える活動であることが求められます。保護者の皆様、地域の皆様と協力してたくさんの「楽しい学び」を考えていきます。

○コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）

コミュニティ・スクールとは、学校と保護者の皆様、地域の皆様が学校の運営に参画することが可能になる「地域とともにある学校」への転換を図る仕組みです。

本校でも、令和5年度準備校として、北茨城市の「芸術によるまちづくり」に賛同し、児童生徒にとって身近で、親しみやすい作品づくりをとおして、地域との協働を目指してきました。本格導入に向けて、地域の皆様とともに魅力ある授業づくりをしていきます。

○地震・津波による避難経路の見直し改善

様々な地域で震度5を超える規模の地震や、豪雨災害が起きている現代社会で、いかに安全を確保するか、本校にとっても、最重要課題です。より安全を目指して、随時避難経路を見直し改善していきます。国道の横断、線路の横断、浸水想定区域の横断と、3つの困難を、関係機関と連携し、情報の更新をして対応していきます。

※今年度の取組みにつきましては、グランドデザイン、学校経営計画表等をご覧ください。

<4月の様子>

○始業式・入学式・離任式

さて、令和6年度が始まり、1ヶ月が経過しました。

4月8日の始業式には、本校キャラクター「きっくん」が朝のお出迎えをし、みんなを笑顔にしていました。

翌日9日は、小学部・中学部・高等部の入学生が一堂に会し、入学式が挙行されました。

あいにくの雨天でしたが、式場の体育館では、温かい祝福の拍手で迎えられた新入生に、生徒会長の高等部3年、伊藤瑞穂さんが「北茨城特別支援学校は楽しいことがたくさんあります。私たちと一緒にたくさんの思い出をつくっていきましょう。」と歓迎の言葉を述べてくれました。



【始業式 きっくんとの再会】

今年度のキャッチフレーズ“笑顔でチャレンジ「やってみよう！」”を合い言葉に学校生活を楽しんでほしいと心から願っております。

また、17日には、5年ぶりに対面で離任式を実施しました。卒業生や、保護者の方々も参加し、転退職された先生方との別れを惜しみました。

場所は離れても、「チームきたとく」。それぞれの地で笑顔いっぱい頑張りましょうね。

【離任式】



○スクールバス置き去り防止ボタンの説明

今年度も安全なスクールバス登校に向けて、茨城交通北茨城出張所様と連携しながら取り組んでいきます。4月26日登校後、「置き去り防止ボタン」の説明を実施しました。

各号車、小学部の児童も話をよく聞いてボタンの位置を確かめたり、車内のルールなどを確認したりすることができました。



○安心・安全に向けた取組み～避難訓練等～

今年度は、児童生徒数 116 名、行政職を含む全ての教職員 94 名でスタートしました。太平洋が一望できる素晴らしい景観の学校です。一方で、海岸から 50 メートルの立地ゆえに、地震等による津波の危険と背中合わせの環境でもあります。防災教育も積極的に取組み、学年始め休業日中に、新年度の教職員で避難ルートの確認を実施し、有事に備えています。児童生徒も、シェイクアウト訓練を含む避難訓練を既に 2 回実施しました。今後も命を守り抜く教育に主体的に取り組んでいきます。

【学年始め休業中の教職員による避難経路の確認】



【地震・津波の避難訓練】



【シェイクアウト訓練】

